

# 広大学生交通事故白書

(平成8年版)

統合移転を完了した今、賀茂学園都市は、田園都市から学園都市、産業集積化都市へと変貌を遂げている。それを都市の進展と見てきた。しかし、この傾向が進めば進むほど、広島大学は新たな問題に直面することになる。広大学生の死亡事故は、新聞にも載るので、存じの方も多いと思いますが、平成八年に西条警察署で処理した広大学生の遭った交通事故は何と一六一件。昨年は一〇五件だったので、この一年間で異常な伸びを示したことになります。西条警察署で入手した資料をもとに、事故の状況を考えてみる。

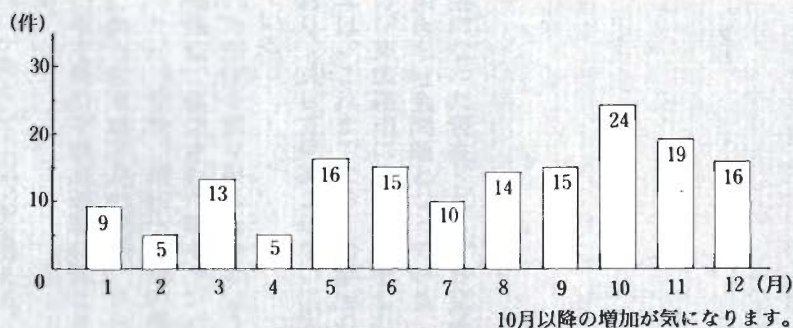
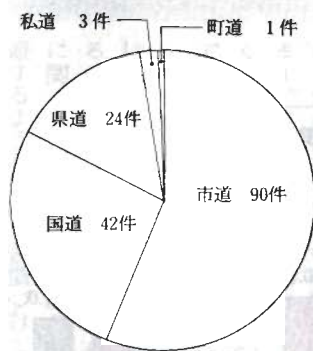


図1 月別発生状況

10月以降の増加が気になります。



私道での事故(特にバイクの絡む事故)が多いのが特徴です。西条の道路事情がまだこれだけの交通量に対して追いついていないのかもしれない。

図6 道路種別

## 大学生は初心者である

交通事故の月別発生状況(図1)をみると、五月以降に増え始め、夏休み明けからさらに増える傾向が見える。多くの広大学生は夏休みに自動車運転免許を取ることで、これは運転者の数が増えることと関係あるのかもしれない。次に何曜日にも事故が多いかみてみると、ほぼ総ての曜日で事故は起こっているが、火曜日に特に集中していた(図2)。しかし昨年は金曜日に集中していたことを考えると、曜日はあまり関係ないのかもしれない。

## 授業が終わっても気を緩めまい

事故の起こる時間帯は午後集中しており、午後三時から午後六時の時間帯に特に多かった(図3)。同じ結果は平成七年にもみられているので、授業の終わった後、ホットして家路につくときに事故に遭うのかもしれない。事故は学生の多い西条地区に集中しており、下見地区は群を抜いている(図4)。土曜・日曜には西条から離れた場所での事故が目につく。

区	分	日	月	火	水	木	金	土	計
第1当事者	平成8年	10	13	23	14	8	11	11	90
	平成7年	9	10	3	11	14	15	7	69
	増減	1	3	20	3	△6	△4	4	21
第2当事者	平成8年	11	9	12	8	7	11	13	71
	平成7年	7	2	3	5	5	11	3	36
	増減	4	7	9	3	2	-	10	35
合計	平成8年	21	22	35	22	15	22	24	161
	平成7年	16	12	6	16	19	26	10	105
	増減	5	10	29	6	△4	△4	14	56

図2 曜日別発生件数

(1・2当が広大学生〜33件)

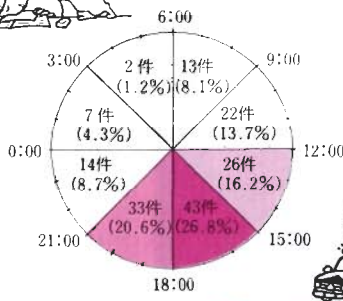
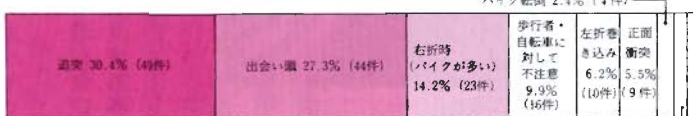


図3 時間帯別

3時間毎に区切ってみました。資料は2時間おきに区切っております。



昨年の交通事故161件のうち原付及び自動二輪の関わる事故は68件であった。

図5 事故形態別

## 基本は“法令遵守” “思いやり” “安全確保”

事故形態をみてみると追突が一番多く、ついで出会い頭の衝突であった(図5)。いずれの事故も、前方を良く注意し、交差点でスピードを落とせば未然に防げたはずである。事故の起こった道路は市道が一番多く、国道・県道の順になっている(図6)。西条は最近急に車が増え、道路の整備が追いつかない状況なので、狭い道に入ったらスピードを落とそう。

## 前方を注意し、交差点ではスピードを落とそう

事故形態をみてみると追突が一番多く、ついで出会い頭の衝突であった(図5)。いずれの事故も、前方を良く注意し、交差点でスピードを落とせば未然に防げたはずである。事故の起こった道路は市道が一番多く、国道・県道の順になっている(図6)。西条は最近急に車が増え、道路の整備が追いつかない状況なので、狭い道に入ったらスピードを落とそう。

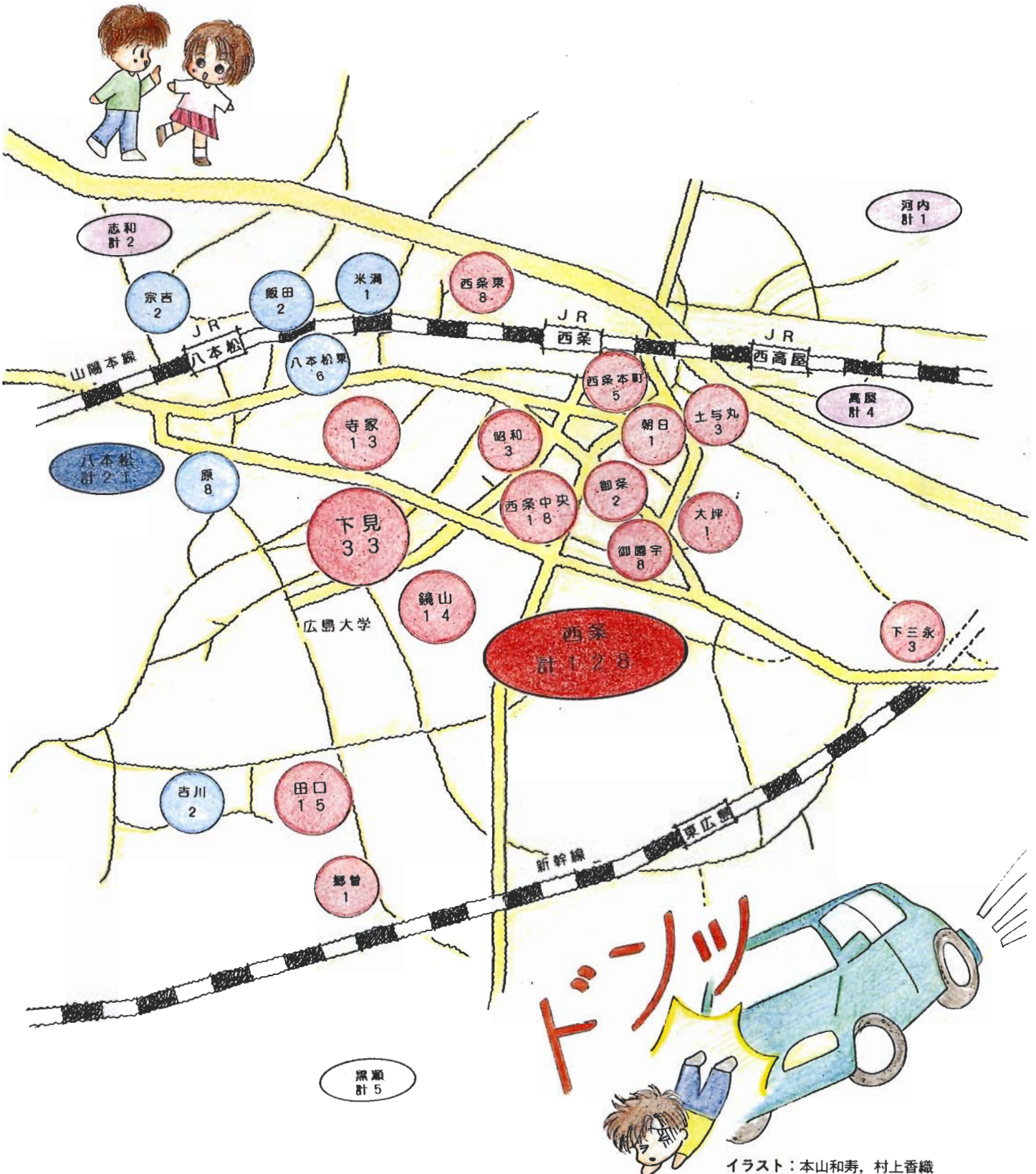
最後に広大学生の交通事故の特徴と事故防止の方法について、西条警察署の交通課長にお伺いした。

傾向があります。しかし県外出身者の多い広大学生の場合、西条という地理に不案内なために事故が多いのかもしれない。

西条は最近急に車が増えたので、道路整備がまだ不十分なところがあります。細い道に入ったらスピードを落とすこと。基本は法令をきちんと守り、前後の安全を確保し、相手の動きをよく見て、思いやりのある運転をすることです。

特に、大学生は免許を取って間が無く、運転に慣れていないので、自分は初心者だという自覚が必要。また夜型の大学生の生活スタイルが夜間の事故につながることもあります。広大学生の交通事故一六一件のうち、六十八件は原付自転車または自動二輪によるものです。二輪車の運転にはくれぐれも気をつけてください。

# 西条事故マップ



イラスト：本山和寿，村上香織